

情報公開文書

研究課題名	学童期になって停留精巣の手術を施行した症例の経過とその問題点の検討
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u>
研究期間	(西暦) 倫理委員会承認日 ~ 2021年 6月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>当科では、1981年の当科開設当時から、小児の停留精巣手術を行っており、徐々に紹介される年齢が下がってきています。しかし、いまだに学童期になってから手術に至った患児がおり、今回その症例の問題点を検討します。</p> <p>(研究方法)</p> <p>1981年当科開設時から2020年12月までの期間における停留精巣手術症例のうち、電子カルテによる詳細な検索が可能となった2009年からの約12年間に手術した症例のカルテより後方視的に検討します。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>診療記録(発見年齢、初診年齢、手術に至った年齢、術前診断、手術所見、術後診断、術前・術中・術後合併症、同時に行った手術)</p>
研究対象者	<p>2009年から2020年に当院小児外科に入院し停留精巣手術を行った患者。</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582 長野県長野市若里五丁目2番1号 長野赤十字病院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原 修一郎</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>